

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● JAK2V617F 遺伝子変異 (JAK2 遺伝子検査) (依頼コード No.13362)

受託開始日 2020年1月20日(月) 受付分より

*受託開始日より早期に出検をご希望の場合は、弊社営業担当にご相談ください。

骨髄増殖性腫瘍(MPN)に分類される真性赤血球増加症(polycythemia vera;PV)、本態性血小板血症(essential thrombocythemia;ET)および原発性骨髄線維症(primary myelofibrosis;PMF)においてJAK2(Janus activating kinase 2)の恒常活性化型変異であるJAK2V617F変異は高頻度に検出されます。JAK2変異の比率を表すアレルバーデン値(相対定量値)が高いと出血・血栓症などのリスクが高まることも示唆されています。

本検査ではリアルタイムPCR法でJAK2遺伝子V617F変異の相対比率を検出します。

- 当該検査の受託開始に伴い、現行のJAK2遺伝子V617F変異解析(依頼コードNo.03849)は2020年3月31日(火)受付分をもちまして検査受託を中止させていただきます。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場 1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



電子カルテはビー・エム・エル

Qualis
Medical Station

受託要領

依頼コードNo.	13362
検査項目名	JAK2V617F遺伝子変異
統一コード	8C491-9951-019-862
検体必要量	血液 : 2.0 mL 骨髄液 : 0.5 mL
容器	血液 : B-30 (EDTA2K 加血) 骨髄液 : O-97 (遺伝子診断検査 骨髄用)
検体の保存方法	冷蔵、開封厳禁
所要日数	6~14
測定方法	リアルタイムPCR法
基準値	1.000以下
単位	%
報告範囲	0.042未満~100.000
報告桁数	小数第3位
検査実施料/判断料	2504点/125点(血液学的検査)
備考	<p>【骨髄液採取上のご注意】</p> <p>骨髄液は、ヘパリンを使用しないシリンジで規定量を採取し、あらかじめ手元に用意した専用容器(O-97)に注入して速やかに転倒混和してください。専用容器に入れるまでに時間が経過したり、転倒混和が不十分だと、骨髄液が凝固してDNA又はRNA抽出ができなくなる場合があります。</p>

【検査方法の参考文献】

桐戸敬太, 他: 臨床血液 59(6), 669-674, 2018.